

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと

2024年度 活動報告

活動内容

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと（以下、支援ネット）では、親の結婚や就労のために外国から熊本県に編入学してくる子どもたちが適切な日本語指導を受けられないことで進学や就職に支障をきたすことがないように、以下の5つの活動を行っています。

① 日本語指導



② 進路サポート



③ 仲間づくり



④ 学習支援と居場所づくり



- 1) おるがったステーション
- 2) GlobalTerakoya たけんち
- 3) やまが日本語クラブ

⑤ 研修会

/講演活動



ご挨拶

平素より、支援ネットの活動を温かくお守りいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、本年、活動を始めて15周年という節目を迎えることができました。この間、熊本地震や豪雨災害、新型コロナウイルス感染症など、子どもの教育に影響する社会変化がありました。近年は、外国人住民が急増する中、日本語初期指導を必要とする外国ルーツの子ども数も増えています。母国の教育制度や来日の背景などが多様で、子ども一人ひとりの実態に応じた指導や彼ら／彼女らが安心して成長できる環境を整えることが益々大変重要になっています。

支援ネットは、外国ルーツの子どもも地域の大事な一員として活躍できる共生社会の実現に向けて一層の努力をしてまいります。今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



理事長 竹村朋子

クラウドファンディングのお礼

2024年10月から2ヶ月間、クラウドファンディングに挑戦しました。皆様の温かいご支援のおかげで、無事目標金額に到達することができました。本当にありがとうございました。

目標金額：300万円

実績：343万6,000円 支援者：220人 達成率115%

【高額寄付を下さった方々】

八幡英幸 様、小坂玲子 様、道本ゆう子 様、益田絵美 様、本吉大介 様、蘭信三 様、平川とみ子 様、山部登美枝 様、小山いつ子 様 *お名前は順不同でご記載のご了承をいただいた方のみ掲載しております。

①日本語指導「くまもとこどものほんご」

委託自治体数

16 自治体

学校数

47 学校
(うち私立学校1)

児童生徒数

87 名



(2025年3月末現在)

2024年度は、菊池市、菊陽町、宇城市、宇土市、合志市、大津町、山鹿市、玉名市、荒尾市、天草市、美里町、南小国町、南阿蘇村、西原村、玉東町、人吉市の16自治体から日本語指導の委託を受け、委託児童生徒数は、2024年度3月末で87名でした。

ルーツはさまざまで、中国、台湾、フィリピン、ベトナム、オーストラリア、シンガポール、パキスタン、フランス、インドネシア、ネパール、アメリカ、ミャンマー、カナダ、ブラジル、ウクライナ、スウェーデン、タイ、日本(海外帰国生徒)でした。

また、2024年度は九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部より委託を受け、支援ネットから日本語指導員を派遣しました。

1)支援ネットがこれまでに日本語指導を実施した自治体などの実績：20自治体・1学校

人吉市、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、天草市、合志市、玉東町、大津町、菊陽町、南小国町、益城町、山都町、美里町、氷川町、津奈木町、西原村、南阿蘇村
九州ルーテル学院インターナショナル小学部

2)独自で日本語指導を実施している自治体：4自治体

熊本市、八代市、津奈木町、長洲町

* 熊本県全45自治体のうち、小中学校で日本語指導が実施されているのは約20自治体です。

支援ネットの日本語指導員は、それぞれの子どもたちに合わせたカリキュラムや指導方法を考え、指導を行っています。また、支援ネットでは、指導力向上のための研修会を開催しており、日々、教え方の勉強をしています。今後も増え続ける子どもたちのために、一層頑張ります。



日本語指導員募集中！

熊本県では、今後も外国ルーツの児童生徒が増えることが予想されています。

現在、支援ネットでは日本語指導員を募集しています。

興味がある方は、支援ネットのHPをご覧くださいか、お電話などでご連絡ください。

支援ネットHPのQRコード

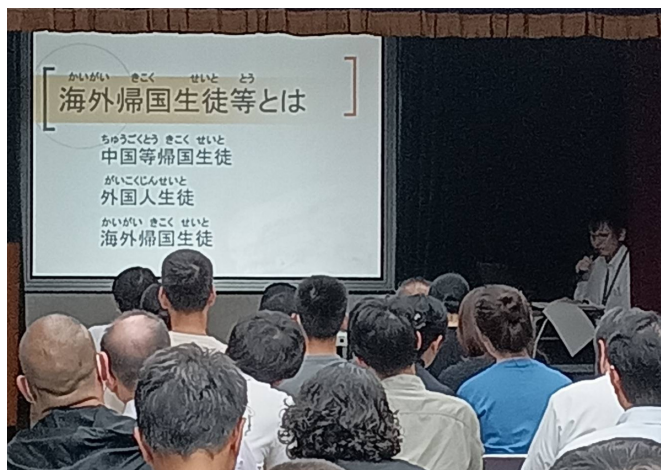


2024/7/7 熊本市国際交流会館

「第19回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」を開催！

外国から来た生徒や保護者は日本の高校入試の制度についてほとんど知りません。特に両親とも外国人の場合、言葉の違いに加え、母国との教育制度の違いから、子どもの状況を把握できないため不安を感じることもしばしばあります。

進路ガイダンスでは、教育委員会から外国人生徒のための入試特別措置（＊）・配慮の説明、先輩高校生の体験発表、および個別相談を行いました。

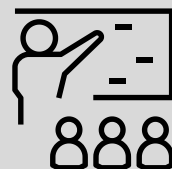


入試特別措置・特別配慮の説明

（＊）熊本県立・市立高校の入試では、海外帰国生徒等に5教科（国語、社会、数学、理科、英語）の中から志願者があらかじめ選択した3教科の学力検査と作文及び面接を実施しています。

実施内容

- 第1部 入試特別措置の説明
- 第2部 先輩高校生の体験発表
- 第3部 個別相談会



【参加者の感想・中学生】

●色々な学校や私の将来の選択肢についてより詳しく知ることが出来ました。



●タイプの違う学校や私に合った学校、私が将来なりたいたいものについて話をしたことはとても有意義でした。ここに来て色々な進路の選択肢について話すことができて良かったです。

【参加者の感想・保護者】



●特別措置・特別配慮の存在と、子どもがその対象となることが分かり少し安心できました。

●海外からの帰国子女には、大変助かる会でありたいです。

【参加者の感想・中学校教員】



●特別措置や特別配慮について実施していく上で、まずは知っていることが大切だと感じました。

●私自身も分かったつもりでいましたが、説明したり質問を受けたりする中で、まだまだ勉強しなければと感じました。



先輩高校生の体験発表



個別相談の様子

2025/3/22~23 熊本市国際交流会館（宿泊：ユースピア熊本） 「第17回 九州外国ルーツの生徒交流会inくまもと」を開催！



2025年3月22日、23日に「第17回外国ルーツの生徒交流会inくまもと」を開催しました。実行委員は、NPO法人外国から来た子ども支援ネットワークくまもと、共に歩み青春を語る会(菊陽町)、FSやつしろ外国にルーツを持つ子どもたちの会(八代市)、菊池日本語教室(菊池市)、やまが日本語クラブ(山鹿市)、秀岳館高校(八代市)、大津・外国ルーツの子ども勉強会(大津町)の外国ルーツの中高生を中心に構成されています。

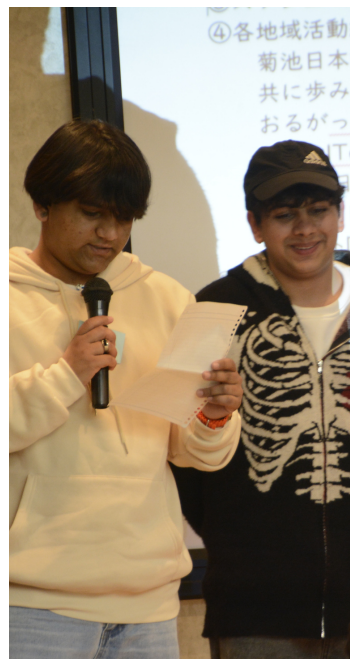
今回は、高校生リーダーを中心に2月から計画的に準備を始め、「交流会で参加者が話しやすくなるためにはどうしたらいいのか」「宿泊場所でも注意事項を話す必要がある」「夜はおしゃべり部屋と寝る部屋と分けたほうがいい」「リーダーだけでなく、みんなが移動経路を知っておいたほうがいい」「参加が少ない地域へはもっと交流会の周知をしたほうがいい」など、さまざまな意見を出し合いながら、交流会の企画・運営を行いました。

交流会後、子どもたちが笑顔で「また来年！」と言って、それぞれの家に帰る姿を見て、交流会を開催する大人スタッフも「また来年！」という気持ちになりました。

今回の交流会は、NHK熊本放送局による撮影及び取材が行われ、番組放映されました。大人スタッフが知らなかった子どもたちの気持ちや本音も知ることができ、また、外国ルーツの子どもたちに関わることのなかった人へも外国ルーツの子どもたちが抱える苦悩を知ってもらうことができる機会になったと思います。

開催趣旨

- 1) 熊本県内に散在している外国ルーツの生徒の悩みや進路の相談ができるネットワークづくりや仲間づくりの場の提供
- 2) 外国ルーツの生徒を担当している学校の担当者や日本語指導者の情報交換
- 3) 九州全体で外国ルーツの生徒たちや支援者のネットワークづくり



④学習支援と居場所づくり

【おるがったステーション】

参加のべ人数 合計 **660** 名

「おるがった」は熊本弁の「私たちの～」の意味です。「ステーション」は「出発する・帰るところ」という意味を込めて名付けられています。学習の場、居場所として外国から来た子どもたちにとってなくてはならない場所です。

2024年度は、新たに7人の参加申し込みがあり、そのうちの5人が定期的に参加するようになりました。午前は10人前後、午後は4～5人の子ども達が参加し、中学生になって、勉強がむずかしくなり、やる気が出ない子や、勉強以外のこと（おしゃべりやお絵かき）をしたい小学生もいます。ただ、休憩時間のトランプやカルタ取りは、とても盛り上がります（笑） そんな中でも、中学3年生は、受験を前にして、一生懸命勉強する姿が見られ、無事に高校進学が決まりました。

【会場】

熊本市国際交流会館 毎週日曜10時～15時



【GlobalTerakoyaたけんち】

参加のべ人数 合計 **942** 名
(おやこにほんごきょうしつ含む)

【会場】

たけさんの家

毎週土・日曜日 9時～17時・長期休暇中 随時



みなさんからいただいたお米や野菜などの寄付は、
いつもおいしくいただいています

「GlobalTerakoyaたけんち」は、外国ルーツの子どもたち対象の日本語や教科の学習の場となっています。同じ国の子と母語で思いっきり話せるし、国は違っても、同じ境遇の子たちで気兼ねなく遊べる場所です。外国ルーツの子どもたちだけでなく、日本ルーツの子たちも境遇は違っても、学校でのいじめや学習の問題で悩んでいる子も多くいます。たけんちはそのような子どもたちのリラックスできる場でもあります。

2005年から20年間で、たけさんちで寝食を共に過ごした子どもたちの数は190人以上になりました。

中学生だけではなく、高校生になっても、数学などついていけない子どもも多く、試験前の駆け込み勉強をしたり、大学入試のためのエントリーシートの書き方や面接の練習などに来る人もいます。さらに大学生になっても就活の相談や、志望理由などの書き方を学びにくる人もいます。

GlobalTerakoyaたけんちは、小学生の時から社会人になるまで、ルーツ関係なく気軽に来られる場所として活動を行っています。

【おやこ にほんごきょうしつ】

【会場】

たけさんの家 毎週月曜日 18時30分～20時

2023年度に始めた親子で参加できる日本語教室です。

当時、日本語ができないという自信のなさで仕事もうまくできないお母さんと、中国語は聞いてわかるけど話せないという中学生の息子さんのために始めました。

2025年4月には息子は高校生になり、最初は全く話せなかったお母さんは介護の研修会を受講後、介護職に就くことができました。



【やまが日本語クラブ】

参加のべ人数 合計 **648** 名

【会場】山鹿市立隣保館 毎週水曜日 19時～21時

やまが日本語クラブ(山鹿教室)は、2015年から始まった「ひだまり日本語クラブ」の継承活動です。

現在、18名の子どもと家族が参加しており、日本語の指導をする先生やボランティアも年々増え、今では、総勢15名が登録しています。参加している子どもの年齢も、下は幼稚園生から上は高校生までと様々で、ルーツの国も中国、フィリピン、ブラジル、ベトナムと多国籍化しています。

それぞれの子どもたちに合わせて、日本語や学校の宿題など分からないところを勉強しています。

2024年度は、日本語の勉強以外にも、夏休みにはカヌー体験、BBQ、川遊びをしたり、12月にはクリスマス会に日頃お世話になっている担任の先生を子どもたちが招待して、作文を読んだり、歌を歌ったりと日本語のお披露目しました。



サポーター大募集中！



あるがったステーション、GlobalTerakoyaたけんち、おやこにほんごきょうしつ、やまが日本語クラブでは、サポーターが足りません！

外国ルーツの子どもたちへの学習支援に興味がある方、ぜひ、お力をお貸しください。

【連絡先】

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと事務局
096-206-3355 / 080-3974-7493
shiennetkumamoto@gmail.com

主なテーマ「外国ルーツの子どもたちの現状と課題について」

熊本県人権同和政策課 人権啓発web講座（一般市民）

御船町人権セミナー「外国人と人権」（一般市民）

熊本市立幼稚園 教職員研修（幼稚園教諭）

熊本県私立高等学校人権研修会・熊本市私立高等学校人権研修会

（熊本県私立高等学校人権担当者・熊本市私立高等学校人権担当者）

苓北支援学校PTA人権教育研修「外国人の人権と多文化共生の地域づくり」（学校教職員、PTA役員）

熊本東南ロータリークラブ 卓話（熊本東南ロータリークラブ）

など多数

受賞・メディア

第18回「未来を強くする子育てプロジェクト」（住友生命保険相互会社）

スミセイ未来大賞・文部科学大臣賞



第14回合志市ボランティア表彰

山鹿市市政功労賞



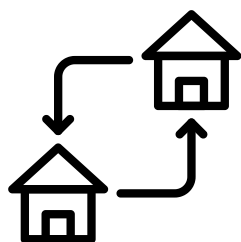
支援ネットよりお知らせ

【熊本県SDGsの事業登録者になりました！】

熊本県は、「誰一人残さない」社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範囲な課題に統合的に取り組む団体をSDGs登録事業者に認定しています。支援ネットは、2024年第7期のSDGs登録事業者に認定されました。これからも、外国ルーツの子どもたちの支援を続けながら、SDGsの実現に取り組んでいきます。



【事務所が移転します！】



現在、合志市須屋にあります事務局が、2025年7月より熊本市東区長嶺南に移転します。

(旧住所) 熊本県合志市須屋3120番地9

(新住所) 熊本県熊本市東区長嶺南6丁目6-1 中田アパート210

2025年度活動予定

- ① 「第20回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」 2025年7月6日(日)
- ② 「第18回九州外国ルーツの生徒交流会inくまもと」 2026年3月20日(金)、21日(土)
- ③ 「おるがったステーション」 毎週日曜日 10時00分～15時00分
- ④ 「GlobalTerakoyaたけんち」 毎週土曜日&日曜日 9時00分～17時00分
- ⑤ 「おやこにほんごきょうしつ」 毎週月曜日 18時00分～20時00分
- ⑥ 「おるがったキッズ」 毎月第2・4日曜日 10時30分～12時00分
- ⑦ 「日本語指導員・月例研修会」 *支援ネット事務局へお問い合わせください

お願い



NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとでは、外国にルーツを持つ子どもたちの明るい未来を作るために、日本語指導をはじめ、様々な支援を行っています。自治体の委託事業である「くまもとかどものにほんご」以外の子どもの居場所づくり、学習支援に関しましては、多くのボランティアの方々のお力と、皆様のご寄付・ご支援により成り立っております。いただきました寄付金は、子どもたちの学習の場の会場費や、学習教材費などに使わせていただいております。今後ともお力添えをよろしくお願い致します。

口座振込寄付をする

ゆうちょ銀行(金融機関コード: 9900)
一七九店 当座165967
口座番号: 01760-3-165967
NPO外国から来た子ども支援ネット熊本

クレジットカードで寄付をする

<https://syncable.biz/associate/shiennetkumamoto>



← 寄付ページQRコード

ふるさと納税

詳細はコチラ

